

本庁共通  
(表紙)

平成26年度決算に係る

定期監査  
決算審査  
調査調書

平成27年8月

教育委員会高等学校課

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	2
3	組織及び業務調べ	2
4	職員の定員、現員調べ	2
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3
7	決算調書(総括表)	9
8	事業別実施状況調べ	10
9	予備費の充用調べ	20
10	繰越関係調べ	21
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	21
12	収入事務処理状況調べ	22
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	26
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	26
15	税外収入不納欠損額調べ	26
16	債務負担行為の状況調べ	27
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	28
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	
18	工事請負費調べ	35
18-2	工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	35
19	財産に関する調べ	35
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	38
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	

21	借受不動産明細調べ	38
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	38
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	38
24	寄附物件の受納状況調べ	38
25	備品の処分状況調べ	39
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	39
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
27	貸付金等状況調べ	39
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	39

注 個別調査事項（共通様式以外の個別調書様式に示されている事項）がある場合は、「○意見、要望等」の前に、その個別調査事項を記載すること。

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

監 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>[教職員の多忙感解消について]</p> <p>県教育委員会においては、平成24年度に県議会決算審査特別委員会から教職員の多忙解消の具体策の検討について文書指摘を受け、平成25年度に「教職員いきいき！プロジェクトチーム」を設置し、現場の教職員や市町村教育委員会とともに、教職員の多忙感解消に取り組んでいる。</p> <p>このプロジェクトチームにおいて、多忙感を解消するための調査や検討が行われているが、多忙感を生み出す様々な原因の分析整理は必ずしも明確になされておらず、取組の成果も具体的に現れて来ているようには見受けられなかった。</p> <p>また、県教育委員会では、学校教育に関する様々な事業や調査を企画し、学校現場において展開・実施されているところであるが、これらについても、現場教職員の多忙感を解消する観点での工夫改善は必要と考える。</p> <p>については、教職員の多忙感解消の取組については、県教育委員会事務局内の現場教育の経験者の知見も活用し、教員が児童生徒に向き合う時間の確保に向けた環境整備の具体的な方策に取り組まれない。</p> <p>また、県教育委員会事務局においては、学校現場のための事業・調査の実施に当たっては、現場教職員の負担感解消の観点で業務を点検されたい。</p>	<p>平成26年度は、倉吉西高等学校をモデル校としてコンサルタントによる外部指導を受けながら多忙感解消に取り組み、その取組で得られた課題や取組の方向性等について、平成27年1月26日に報告会を開催し、他の学校や市町村教育委員会とも情報共有を図った。一方、事務局では学校宛の照会・調査の精査や発送文書のルー化などの取組を進めたところである。</p> <p>また、平成27年度はモデル校における取組を事例集としてまとめ、5月に各学校へ配布するとともに、学校改善モデル校で実施した業務改善のノウハウを横展開するため、県立学校において学校カイゼン推進校（高校は3年、特別支援学校は2年で一巡）を指定し、学校カイゼンの取組の全県展開を実施しているところである。</p> <p>平成26年度県立高等学校ワーキンググループ会議では、「女性が働きやすい職場にするために」というテーマで議論し、女性管理職の割合を増加させるため、平成26年度末公立学校教職員人事異動方針に、管理職への女性の登用について明記するとともに、管理職への女性の登用を促進。なお、平成27年度当初予算要求において教員の業務負担軽減のための非常勤職員を配置要求したが、実現に至らなかった。</p> <p>さらに、勤務時間管理サポートシステムを活用し、適切な勤務時間管理と時間外業務DBへの入力徹底について継続して指導を行うことで、教職員の業務改善への意識啓発を図るとともに、時間外業務の内容等の分析により、今後の校務分掌の在り方等の見直しを行い、学校カイゼン活動を推進する予定。</p>

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況  
該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係 名	課 の 主 な 所 掌 事 務
高等学校課	学 事 担 当	県立高等学校の授業料に関すること。 高等学校等就学支援金に関すること。
	管 理 担 当	県立高等学校の設置、廃止及び管理に関すること。 県立高等学校の教職員の定数及び任免その他の人事に関すること。 県立高等学校の教職員の組織する職員団体に関すること。
	指 導 担 当	県立高等学校の教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。 県立高等学校の入学選抜に関すること。 県立高等学校の教科用図書及び教材の取扱いに関すること。 高等学校卒業程度認定試験に関すること。
	近畿高等学校総合文化祭室	第35回近畿高等学校総合文化祭の開催に関すること。
	高校教育企画室	今後の県立高等学校の在り方に関すること 学力向上に関すること
	英語教育推進室	外国語の教科指導に関すること 国際理解教育及び国際交流に関すること 海外留学支援に関すること 外国語指導助手に関すること

4 職員の定員、現員調べ

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		合 計		備 考
	27.4.1 現 在	26.4.1 現 在	27.4.1 現 在	26.4.1 現 在	27.4.1 現 在	26.4.1 現 在	27.4.1 現 在	26.4.1 現 在	
定 員	28	28					28	28	
現 員	(1) 29	(0) 28	( )	( )	( )	( )	(1) 29	(0) 28	・主事1名休職 H26.11.9～H27.6.30 ・主事1名休職により定数外
過不足(△)	1	0					1	0	
臨 時 職 員	0	0					0	0	
非常勤職員	7	5					7	5	・一般事務（2名） ・事務補助（2名） ・キャリアプランニングスーパーバイザー（1名） ・まんが王国とっとり応援団コーディネーター（1名） ・ALT支援職員（1名）

5 役付職員の調べ

(平成27年8月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
参事監兼高等学校課長兼近畿高等学校総合文化祭室長	御 船 齋 紀	年 月 1 4	(4年4月)
高校教育企画室長兼英語教育推進室長	中 島 靖 雄	1 4	(4年4月)
課 長 補 佐	横 山 順 一	3 4	

6 主な事業に関する調べ

	概	要
英語教育強化事業	ア 目的及び事業の実施状況	
決算額 6,217千円	(ア) 次期学習指導要領の全面実施(平成32年頃)に向け、本県独自の研修を実施し中学校英語教員の指導力向上を図る。また、グローバル化に対応した教育環境づくりのモデルとして小中高が連携した英語教育の強化地域を指定して英語教育を推進する。	
(財源内訳)	(イ) 事業の実施状況	
一般財源 5,671千円	(1) 中学校英語指導法研修の実施 次期学習指導要領に対応した指導法についての研修を実施(年2回) (4年間の計画で中学校英語教員悉皆。平成26年度は研修の1年目であり、県内英語教諭約160名のうち、43名が参加。)	
○将来ビジョン VI 育む	(2) イングリッシュシャワールーム(※)の拡大 境港地区を英語教育強化モデル地域として、小中高の連携に取り組むとともに、境港市内の中学校1校に新たにイングリッシュシャワールームを設置。 (県内計6箇所)	
(2) 「人財・鳥取」の推進	※中学校内にALT(外国語指導助手)が常駐する部屋を設置して、生徒が日常的に英語に触れることができるようにした場所	
○政策項目 2 少人数学級の 拡充など 学力向上のプログラム	イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 (平成26年度新規事業)	
	ウ 成果	
	(1) 中学校英語指導法研修 ・鳥取県内の中学校教員を対象として、コミュニケーション活動が中心となる英語による授業の指導法についての研修を2回実施し、指導力の向上を図ることができた。	
	(2) イングリッシュシャワールームの拡大 ・新規配置の境港市立第二中学校では、近隣小学校でのALT活用も図りながら児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上に活用。 ・生きた英語に触れ、異文化を体験することで、海外への興味や英語学習への意欲を育むことができた。 ・日常的に訪問する生徒は、自然なあいさつや自分から話しかけることができるようになった。	
	エ 課題	
	○中学校英語教員の英検準1級レベルの資格取得者が26%と少ないために、まず、指導力向上のためにも受験を促す必要がある。 (全国平均は約27%)	
	○イングリッシュシャワールームの設置環境により、生徒の訪問状況に偏りが出てしまう。	

	概	要
グローバル・リーダー育成事業 決算額 6,376千円 (財源内訳) 一般財源 6,376千円 ○将来ビジョン VI 育む (2) 「人財・鳥取」の推進 ○政策項目 2 少人数学級の拡充など 学力向上のプログラム	ア 目的及び事業の実施状況 (1) 将来国際的に活躍できる人材を高等学校段階から育成するため、スーパーグローバルハイスクール(※)アソシエイト校に認定された、鳥取西高校のグローバルリーダー育成のための教育カリキュラムの開発・実践や体制整備を推進する。 ※急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバルリーダーを高等学校段階から育成することを目的とした国事業。(平成26年度56校指定) (2) 事業の実施状況 ・豪州アデレード大学への生徒派遣(10月)・・・生徒13名が授業や学生との交流に参加 ・課題研究「思索と表現」での取組 ・鳥取大学教員にも指導助言を受けながら課題解決型の学習を実施 ・タブレット端末を活用した学年「縦割り」型協同学習を実施 ・英語による成果発表を実施(7月、とりぎん文化会館)	
	イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 (平成26年度新規事業)	
	ウ 成 果 ・豪州アデレード大学への派遣により、生徒の英語による研究発表への意欲が向上した。 ・鳥取大学教員の専門的見地からの指導で目標や研究手法が明確化している。(7月の成果発表も指導) ・タブレット端末の活用により適時に資料提供等が行われ、議論が一層活発化した。	
	エ 課 題 ・生徒のプレゼンテーション能力は向上したが、質疑応答力に課題がある。 ・生徒の研究成果の学校外への積極的広報活動が必要である。 ・生徒の研究に対する教員の評価方法確立が必要である。	
県立高校土曜授業等実施事業 決算額 1,017千円 (財源内訳) 一般財源 1,017千円	ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 ・土曜日において、生徒にこれまで以上に豊かな教育環境を提供し、その成長を支えるため、土曜授業の実施に取り組むとともに、土曜日を活用して、学校と地域が連携した多様な学習や体験活動等の機会の充実に取り組む。 (イ) 事業の実施状況 ・県立高校24校中、重点校1校で月に2回教育課程内で授業を実施、モデル校6校で学期に数回程度、希望する生徒を対象に学校と地域が連携した多様な学習や体験活動等の機会を設定。	

	概	要																			
<p>県立高校土曜授業等実施事業 (つづき)</p> <p>○将来ビジョン VI 育む</p> <p>(2) 「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 2 少人数学級の拡充など 学力向上のプログラム</p>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <h2 style="margin: 0;">県立高校土曜授業等実施事業</h2> <p>～ 高校における土曜日の教育環境充実を目指す ～</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 40%;">対象校</th> <th style="width: 50%;">取組の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重点校</td> <td>倉吉東</td> <td>教育課程内の授業を実施 (月に2回、3時間の授業を全学年の生徒対象)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">モデル校</td> <td>東部:八頭</td> <td>生徒が地域に出て行き、地域の産業・文化等を探究する取組 (学期に1回程度、探究コースの希望者対象)</td> </tr> <tr> <td>東部:智頭農林</td> <td>商店街における商品販売など地域と連携した取組(学期に数回程度、園芸科学科の希望者対象)</td> </tr> <tr> <td>中部:倉吉総合産業</td> <td>チャレンジショップ「くらそうや」の改善を図るため、地域から講師を招きアドバイスを得る取組(学期に数回程度、ビジネス科3年希望者対象)</td> </tr> <tr> <td>西部:米子東</td> <td>県外の有識者を招いて、生徒の進路意識を高める取組(学年に1回程度、3学年希望者対象)</td> </tr> <tr> <td>西部:米子西</td> <td>中高連携による芸術体験学習や大山周辺での野鳥観察などをとおして生徒の知的好奇心を向上(学期に1回程度、3学年の希望者対象)</td> </tr> <tr> <td>西部:境港総合技術</td> <td>生徒と地域社会(水産関係団体)をつなげる取組(毎月1回程度、水産学科の希望者対象)</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>その他、土曜日の教育活動については、学校裁量予算等を活用して、鳥取商業の「鳥商デパート」、米子東の「科学を創造する人材育成事業」などの取組を実施している。</p> </div>	区分	対象校	取組の概要	重点校	倉吉東	教育課程内の授業を実施 (月に2回、3時間の授業を全学年の生徒対象)	モデル校	東部:八頭	生徒が地域に出て行き、地域の産業・文化等を探究する取組 (学期に1回程度、探究コースの希望者対象)	東部:智頭農林	商店街における商品販売など地域と連携した取組(学期に数回程度、園芸科学科の希望者対象)	中部:倉吉総合産業	チャレンジショップ「くらそうや」の改善を図るため、地域から講師を招きアドバイスを得る取組(学期に数回程度、ビジネス科3年希望者対象)	西部:米子東	県外の有識者を招いて、生徒の進路意識を高める取組(学年に1回程度、3学年希望者対象)	西部:米子西	中高連携による芸術体験学習や大山周辺での野鳥観察などをとおして生徒の知的好奇心を向上(学期に1回程度、3学年の希望者対象)	西部:境港総合技術	生徒と地域社会(水産関係団体)をつなげる取組(毎月1回程度、水産学科の希望者対象)	<p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・平成26年度から実施。</p> <p>ウ 成 果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の授業評価アンケートでは、勉強に向かう姿勢について良い変化があらわれた。</li> <li>(2) 地域の有識者に指導や講演をしていただき、生徒の学びの深化につながった。また、「課題研究」等がより充実したものになった。</li> <li>(3) 参加生徒が地域のイベントで地域の方々と一体となってそれぞれの学科の特性を活かした活動を行うことにより、地域の担い手となる生徒の意欲や自覚を育むことができた。</li> <li>(4) 生徒、教員が関係機関・企業、公民館等と連携する中で地域貢献及び学校情報の発信を果たし、地域からの支援を得るとともに、生徒は、住民等多くの方から感謝や労いの言葉を言われ、充実感や自己有用感を高めることができた。</li> <li>(5) 遠隔地や時間帯により平日に実施することが困難な取組を、土曜日を活用することによって、定期的に行うことができた。</li> </ol> <p>エ 課 題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 土曜授業を実施しているのは、1校だけであるため、授業日の土曜日に体育文化関連の大会が頻繁に入り、欠席となる生徒が多い。また、授業担当教員が大会引率等で出張となる場合は授業の変更が難しい。</li> <li>(2) モデル校においては、地元の方々へのPRを工夫し、認知度を上げる必要がある点や、平日にしか訪問できないまたは職員の方が対応できない機関もあり、土曜実施が難しい場合があった。</li> <li>(3) 3年生のみの取組となっている事業は、今後、後輩への引継を適切にする必要がある。</li> <li>(4) 中学校と高校の行事がなかなか噛み合わず、日程調整が難しい。そのため、本来参加できる生徒も欠席せざるを得ない状況があった。</li> </ol>
区分	対象校	取組の概要																			
重点校	倉吉東	教育課程内の授業を実施 (月に2回、3時間の授業を全学年の生徒対象)																			
モデル校	東部:八頭	生徒が地域に出て行き、地域の産業・文化等を探究する取組 (学期に1回程度、探究コースの希望者対象)																			
	東部:智頭農林	商店街における商品販売など地域と連携した取組(学期に数回程度、園芸科学科の希望者対象)																			
	中部:倉吉総合産業	チャレンジショップ「くらそうや」の改善を図るため、地域から講師を招きアドバイスを得る取組(学期に数回程度、ビジネス科3年希望者対象)																			
	西部:米子東	県外の有識者を招いて、生徒の進路意識を高める取組(学年に1回程度、3学年希望者対象)																			
	西部:米子西	中高連携による芸術体験学習や大山周辺での野鳥観察などをとおして生徒の知的好奇心を向上(学期に1回程度、3学年の希望者対象)																			
	西部:境港総合技術	生徒と地域社会(水産関係団体)をつなげる取組(毎月1回程度、水産学科の希望者対象)																			



	概	要																
<p>高等学校改革推進事業</p> <p>決算額 137千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>一般財源 137千円</p> <p>○将来ビジョン VI 育む</p> <p>(2) 「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 2 少人数学級の拡充など 学力向上のプログラム</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 平成30年度までの県立高等学校の在り方について、平成24年度に策定した基本方針に基づき、必要な学級減等の具体的検討を行うとともに、平成31年度以降も生徒数が大幅に減少することが予想されることから、平成31年度以降の県立高等学校の在り方についても併せて検討を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 平成28年度県立高等学校の学級減等の決定</p> <table border="1" data-bbox="472 546 1386 1111"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>平成27年度 (小学科)</th> <th>平成28年度 (小学科)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取西</td> <td>普通科⑧</td> <td>普通科⑦</td> <td>普通学科を1学級減じる。</td> </tr> <tr> <td>智頭農林</td> <td>園芸科学科① 森林科学科① 生活環境科①</td> <td>ふるさと創造科① 森林科学科① 生活環境科①</td> <td>園芸科学科をふるさと創造科に改編する。</td> </tr> <tr> <td>倉吉総合産業</td> <td>機械科① 電気科① ビジネス科① 生活デザイン科① 情報科①</td> <td>機械科① 電気科① ビジネス科① 生活デザイン科① (情報学科募集停止)</td> <td>情報学科の募集を停止する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※丸囲み数字は学級数、アンダーラインは変更箇所</p> <p>(2) 平成31年度以降の県立高等学校の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「平成31年度以降の県立高等学校の在り方に係る基本方針」の策定に向け、県教育審議会に諮問(平成25年4月)し、学校等教育分科会における計9回(平成25年度:6回、平成26年度:3回)の審議を経て、平成26年9月29日に答申を受けた。</li> </ul> <div data-bbox="587 1391 1386 1592" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;答申&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化や情報化、少子高齢化がより一層進展するなど社会が大きく変化する中で、生きる力を育み、時代の要請に応じていく高等学校教育の在り方</li> <li>・県人口や生徒数の減少に対応した高等学校の在り方</li> </ul> </div> <p>答申を踏まえ、関係者と意見交換を行うなど基本方針の項目について検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針策定の参考とするため、平成26年10月から11月にかけて、他都道府県の再編基準等を調査するなど、情報収集にあたった。</li> </ul> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度までの高校の在り方については、関係者と十分に協議を行いながら検討を進めた。</li> <li>・平成31年度以降の高校の在り方については、県教育審議会学校等教育分科会を中心に意見を聴取した。</li> </ul>	学校名	平成27年度 (小学科)	平成28年度 (小学科)	備考	鳥取西	普通科⑧	普通科⑦	普通学科を1学級減じる。	智頭農林	園芸科学科① 森林科学科① 生活環境科①	ふるさと創造科① 森林科学科① 生活環境科①	園芸科学科をふるさと創造科に改編する。	倉吉総合産業	機械科① 電気科① ビジネス科① 生活デザイン科① 情報科①	機械科① 電気科① ビジネス科① 生活デザイン科① (情報学科募集停止)	情報学科の募集を停止する。	
学校名	平成27年度 (小学科)	平成28年度 (小学科)	備考															
鳥取西	普通科⑧	普通科⑦	普通学科を1学級減じる。															
智頭農林	園芸科学科① 森林科学科① 生活環境科①	ふるさと創造科① 森林科学科① 生活環境科①	園芸科学科をふるさと創造科に改編する。															
倉吉総合産業	機械科① 電気科① ビジネス科① 生活デザイン科① 情報科①	機械科① 電気科① ビジネス科① 生活デザイン科① (情報学科募集停止)	情報学科の募集を停止する。															

	概	要
高等学校改革推進事業（つづき）	<b>ウ 成 果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針（平成25年度～平成30年度）に基づいて、平成28年度に実施する学級減等を決定した。</li> <li>・ 平成31年度以降の高校の在り方について、県教育審議会学校等教育分科会の審議を経て、同審議会から答申を受けた。</li> </ul>	
	<b>エ 課 題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本方針に基づき、平成30年度までの高等学校の在り方について、引き続き、具現化を進めていく必要がある。</li> <li>・ 平成31年度以降の県立高校の在り方については、県教育審議会の答申の内容を踏まえ、関係者との意見交換やパブリックコメントを実施しながら、平成27年度中に基本方針を策定する必要がある。</li> </ul>	
公立高等学校就学支援事業  決算額 401,481千円  （財源内訳）  一般財源 0千円  ○将来ビジョン VI 育む  （2） 「人財・鳥取」の推進  ○政策項目 なし	<b>ア 目的及び事業の実施状況</b> <b>（ア）目的</b> 「公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」の一部が改正され、就学支援金を給付する制度へ一本化されたことに伴い、平成26年度入学生より授業料の徴収を再開したため、県立高校に在籍する生徒に対して、授業料と同額の「高等学校等就学支援金」を支給し、教育費の負担軽減を図る。（平成26年3月以前入学生は不徴収制度を継続） また、高等学校等を中途退学した者が再び高等学校で学び直す場合に、就学支援金の支給期間経過後も、高校卒業までの間継続して授業料の支援を行う。 対象：市町村民税所得割額が304,200円未満の世帯（支援金は県が代理受領）  <b>（イ）事業の実施状況</b> <b>（1）就学支援金</b> 支給額：401,480,865円 年度内の受給資格者数（実人数）：3,583人（在籍者の約85%に支給） <b>（2）学び直し支援金</b> 26年度は支給実績なし。	
	<b>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</b> <b>（平成26年度新規事業）</b>	
	<b>ウ 成 果</b> 認定者へ確実に就学支援金を支給し、授業料に充当することで、保護者の教育費負担の軽減を図った。	
	<b>エ 課 題</b> 就学支援金の認定に関する事務が複雑で、ケースごとに確認が必要な場合が多いため、学校の事務担当者向けに軽易な質問に対するQ&Aや様式を掲載したマニュアルの作成を進めていく必要がある。	

	概	要
<p>近畿高等学校総合文化祭鳥取大会開催準備事業</p> <p>決算額 3,375千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>一般財源 3,367千円</p> <p>○将来ビジョン VI 育む</p> <p>(2) 「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 なし</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 高等学校の文化芸術活動の発展・充実と全国レベルの文化部養成のため、平成27年度に開催される「近畿高等学校総合文化祭鳥取大会」に向け、その円滑な実施と成功のための準備を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 実行委員会の設立・開催 大会の企画・運営に関する必要事項の協議・決定を行う実行委員会を設立し、7月に開催した。</p> <p>(2) 実行運営委員会の開催 実務者が集まり、総合開会行事の企画・運営と各部会の企画・調整を行う実行運営委員会を10月と2月に開催した。</p> <p>(3) 総合開会行事委員会及び小委員会の開催 総合開会行事のテーマ及びシナリオや各開催部門の紹介方法等を検討する総合開会行事委員会を6月、10月、2月に、原案等を作成する小委員会を8月(2回)、1月に開催した。</p> <p>(4) 生徒実行委員会の設立・開催 生徒実行委員会を設立し、9月と12月に開催した。また、大会の広報等に係る制作物のデザイン等を考えるクリエイター部門も設立し、2月に2回デザイン制作を行い、生徒レベルで開催機運の盛り上げを図った。</p> <p>【鳥取大会の概要(案)】</p> <p>日 程：平成27年11月14日(土)から11月22日(日)</p> <p>会 場：鳥取市、倉吉市、米子市、境港市、大山町、伯耆町</p> <p>開催部門：総合開会行事、日本音楽、合唱－器楽・管弦楽、吹奏楽、郷土芸能－吟詠剣詩舞、マーチングバンド・パトントワリング、演劇、美術・工芸、書道、写真、新聞、放送、囲碁、将棋、小倉百人一首かるた、まんが(鳥取県独自)</p> <p>※部門によっては、特別支援学校の参加を検討中</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 県高等学校文化連盟や各学校と緊密な連携を図り実施した。</p> <p>ウ 成 果 実行委員会、実務者を中心とする実行運営委員会を開催し、大会基本方針や開催要綱、各部会の実施要項の原案が固まり、当日の開催に向けた具体的な準備を始めることができた。</p> <p>エ 課 題 部員数や活動している学校が少なかったり、経験のある顧問が少なく、他部会や該当部以外の生徒の協力が必要な部会がある。 大規模な大会運営経験のある顧問が少なく、準備について不安を抱えている部会もある。</p>	

7 決算調書  
一般会計

(総括表) (上段は決算額、下段( )はうち高等学校課歳出充当分)

区分	科目	予 算			現 類			決算額の内訳		現在年度繰越額C	差引増減額A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	予算額	継続費	繰越額	計A	B	本庁			
歳 出	教職員費	16,716,000	0	0	0	0	16,716,000	14,911,631	14,850,777	60,854	0	1,804,369
	教育連絡費	542,571,000	0	0	0	0	542,571,000	498,809,069	56,499,349	442,309,720	0	43,761,931
	教育振興費	300,346,000	△3,559,000	0	0	0	296,787,000	229,841,974	87,457,647	142,384,327	11,157,000	55,788,026
	教育財産費	9,188,000	0	0	0	0	9,188,000	151,580	151,580	0	8,984,000	52,420
同 上	合 計	868,821,000	△3,559,000	0	0	0	865,262,000	743,714,254	158,959,353	584,754,901	20,141,000	101,406,746
	教育使用料	80,000	△73,000	0	0	0	7,000	7,560	0	7,560		△560
	教育手数料	525,917,000 (4,345,000)	△13,751,000 ( 0 )	0	0	0	512,166,000 (4,345,000)	512,128,830 (4,246,391)	27,899,470 (4,008,042)	484,229,360 (238,349)	0	37,170 (98,609)
	教育財産費	1,260,613,000	△3,709,000	0	0	0	1,256,904,000	1,241,156,262	1,241,156,262	0	2,849,000	12,898,738
財 源	教育財産費	28,534,000	△1,600,000	0	0	0	26,934,000	1,849,000	1,849,000	0	9,157,000	15,928,000
	教育費助金	26,911,000	△19,129,000	0	0	0	7,782,000	4,024,622	2,208,817	1,815,805	0	3,757,378
	教育費基金	5,082,000	0	0	0	0	5,082,000	0	0	0	5,082,000	0
	延滞金	0	0	0	0	0	0	100	0	100	0	△100
記 録	雑 入	3,836,000	△24,000	0	0	0	3,812,000	3,322,038	1,633,307	1,688,731	0	489,962
	小 計	1,850,973,000	△38,286,000	0	0	0	1,812,687,000	1,762,488,412	1,274,746,856	487,741,556	17,088,000	33,110,588
	一般県費	△982,152,000	34,727,000	0	0	0	△947,425,000	△1,018,734,233	△1,115,787,503	97,053,270	3,053,000	68,256,233
	合 計	868,821,000	△3,559,000	0	0	0	865,262,000	743,714,254	158,959,353	584,754,901	20,141,000	101,406,746

特別会計  
該当なし

## 8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(教職員人事費)					
県立学校勤務時間管理サポートシステム整備事業	6,549,000	6,254,316	0	294,684	教職員の勤務時間等を正確に把握するための県立学校勤務時間管理サポートシステムについて、運用が開始されていない県立学校に導入するため、必要な機器の整備を行った。(県立学校14校)
ICT活用学校いきいきプロジェクト事業	3,874,000	3,182,549	0	691,451	教職員が行う事務的な連絡時間を削減し、生徒と向き合う時間を確保するため、連絡事項を掲示する大型液晶モニターを県立高等学校(6校)に整備し、教職員の多忙感解消の取組みを進めた。
教職員人事管理費	6,293,000	5,474,766	0	818,234	適切な学校管理・運営を期するため、管理主事による学校訪問等を行い、高等学校への指導を行った。 学校教育の充実と教育水準の向上に資するための教職員人事に努めた。 鳥取県教育委員会指導改善研修教員審査委員会を開催し、過去に認定解除された教員の状況、指導改善研修について協議した。
目計	16,716,000	14,911,631	0	1,804,369	
(教育連絡調整費)					
イングリッシュシャワールーム設置事業	25,566,000	23,641,747	0	1,924,253	県内中学5校に、各1名ずつ外国人スタッフを配置し、生徒が日常的に英語に触れることのできる場所(イングリッシュシャワールーム)を設置して、生徒の英語によるコミュニケーション能力を高めた。 ・英語授業の中での異文化理解 ・チームティーチング ・休憩時間や放課後を利用したおしゃべりタイム ・英語検定の面接練習 ・音読・暗唱指導等

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																				
とっとりイングリッシュクラブ	1,505,000	1,024,415	0	480,585	<p>中高生の希望者を対象に県内の外国語指導助手（ALT）を活用し年間6回の体験活動及び、2泊3日の英語キャンプを実施し、英語を学ぶ楽しさやコミュニケーション能力の向上につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生約140名</li> <li>・主に土曜日に県内各地で活動を実施</li> <li>・ネイティブスピーカーとのコミュニケーションだけでなく、環境問題に関する意見交換やプレゼン等も実施</li> </ul>																				
(主) 高等学校改革推進事業	137,000	136,656	0	344	<p>学校長が独自性を発揮した学校経営ができるよう、学校運営費、教職員旅費、学校独自事業の総額を一括して配分し、学校長裁量による予算執行を行った。</p> <p>各学校の課題解決のための臨機な対応ができ、実施に当たっての費用対効果の検証、説明責任を果たすなど、学校の自主・自立に繋がっている。</p>																				
県立高校裁量予算 学校独自事業 〔 予算額及び 決算額は教育 環境課で計上 〕																									
高等学校教育企画費	66,691,000	47,301,802	0	19,389,198	県立高等学校に対して指導・助言を行うとともに、関係団体への助成を行った。																				
(主) 公立高等学校就学支援事業	417,586,000	401,480,865	0	16,105,135																					
入学選抜諸費	4,345,000	4,246,391	0	98,609	平成27年度県立高等学校入学者等の選抜を実施した。																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>課程</th> <th>定員</th> <th>志願者</th> <th>受検者</th> <th>合格者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全日制</td> <td>4,142</td> <td>4,397</td> <td>4,312</td> <td>3,928</td> </tr> <tr> <td>定時制</td> <td>220</td> <td>146</td> <td>144</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,362</td> <td>4,543</td> <td>4,456</td> <td>4,038</td> </tr> </tbody> </table>						課程	定員	志願者	受検者	合格者	全日制	4,142	4,397	4,312	3,928	定時制	220	146	144	110	計	4,362	4,543	4,456	4,038
課程	定員	志願者	受検者	合格者																					
全日制	4,142	4,397	4,312	3,928																					
定時制	220	146	144	110																					
計	4,362	4,543	4,456	4,038																					

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																
入学選抜諸費 (つづき)					願書受付(一般) 27.2.20~2.24 入学者選抜検査(一般) 27.3.5~3.6 合格発表 27.3.13																
県立学校第三者評価推進事業	1,396,000	1,167,655	0	228,345	県立学校8校で県教育委員会が委嘱した有識者による第三者評価を実施。H26年度から2巡目。 →各学校とも平成22年度の評価で指摘を受けた点は克服されていた。																
教職員派遣研修費	20,682,000	16,434,505	0	4,247,495	教職員の資質や指導力の向上を図るため、計画的な派遣により研鑽を積む。																
					中央研修講座への派遣各種研修会・講習会へ派遣 指導主事及び現職教員を中央研修講座等に派遣することで、指導力の向上を図るとともに、各地区において中核となる人材の育成を図った。																
					内地留学・新教育大学大学院等への派遣																
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>テーマ及び派遣先</th> <th>人数</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内地留学</td> <td>発達障がいの生徒支援 鳥取大学地域学部(1名) 特別支援教育の充実 島根大学大学院教育学 研究科発達臨床(1名) 教育相談の充実 鳥取大学医学部(1名)</td> <td>3人</td> <td>1年</td> </tr> <tr> <td>新教育大学大学院</td> <td>兵庫教育大学大学院 (2年目1名、1年目1名)</td> <td>2人</td> <td>2年</td> </tr> <tr> <td>大学の知と連携した授業改革による学びの質の向上</td> <td>静岡大学(2名) 東京大学(4名)</td> <td>2人 4人</td> <td>6か月 11日間</td> </tr> </tbody> </table>	区分	テーマ及び派遣先	人数	期間	内地留学	発達障がいの生徒支援 鳥取大学地域学部(1名) 特別支援教育の充実 島根大学大学院教育学 研究科発達臨床(1名) 教育相談の充実 鳥取大学医学部(1名)	3人	1年	新教育大学大学院	兵庫教育大学大学院 (2年目1名、1年目1名)	2人	2年	大学の知と連携した授業改革による学びの質の向上	静岡大学(2名) 東京大学(4名)	2人 4人	6か月 11日間
区分	テーマ及び派遣先	人数	期間																		
内地留学	発達障がいの生徒支援 鳥取大学地域学部(1名) 特別支援教育の充実 島根大学大学院教育学 研究科発達臨床(1名) 教育相談の充実 鳥取大学医学部(1名)	3人	1年																		
新教育大学大学院	兵庫教育大学大学院 (2年目1名、1年目1名)	2人	2年																		
大学の知と連携した授業改革による学びの質の向上	静岡大学(2名) 東京大学(4名)	2人 4人	6か月 11日間																		
(主)近畿高等学校総合文化祭鳥取大会開催準備事業	4,663,000	3,375,033	0	1,287,967																	
目 計	542,571,000	498,809,069	0	43,761,931																	

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果									
(教育振興費)														
未来を開く学力形成事業	8,616,000	6,401,954	0	2,214,046	<p>学校の枠を超えた連携を深め、教員同士が協働して教科指導力を向上させ授業改善を図るための取組や、切磋琢磨しながら進路実現に向けて果敢にチャレンジする生徒を育成するための取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エキスパート教員育成 参加教員数9人 →内3人をエキスパート教員に認定</li> <li>・学校連携チャレンジサポート事業(12校14事業)</li> <li>・理数課題研究等発表会 参加生徒数30人</li> <li>・「科学の甲子園」鳥取県大会 参加生徒数63人</li> </ul>									
外国語教育改善指導費	120,302,000	112,852,727	0	7,449,273	<p>語学指導を行う外国青年を県立学校に配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語 21名</li> <li>・韓国語 2名</li> <li>・中国語 1名</li> </ul> <p>英語担当教員の資質の向上を図るため英語圏の大学への2ヶ月派遣を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米 デンバー大学 1名</li> <li>英 エクセター大学 1名</li> </ul>									
外部人財活用事業	6,895,000	5,511,560	0	1,383,440	<p>県立高校・大学教員交流事業 高等学校の生徒が大学教員の講義を受けることにより、学ぶことへの意欲の高揚を図るとともに、将来の進路目標に向かって学習する態度の育成に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="933 1691 1508 1809"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施校</th> <th>のべ教員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取大学</td> <td>8校</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>鳥取環境大学</td> <td>5校</td> <td>9名</td> </tr> </tbody> </table> <p>社会人講師活用事業 生徒の興味・関心に応じた多様な教育を展開し、専門的な知識・技術を有する社会人を講師として招へいした。 県立高校 22校</p>	区分	実施校	のべ教員数	鳥取大学	8校	19名	鳥取環境大学	5校	9名
区分	実施校	のべ教員数												
鳥取大学	8校	19名												
鳥取環境大学	5校	9名												



事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
地域を担う人財育成事業	22,242,000	3,301,987	11,157,000	7,783,013	<p>鳥取県版キャリア教育推進会議（年2回） →高等学校におけるキャリア教育のあり方及び具体的な施策に関する事項の提言</p> <p>地域の産業界と学校のネットワーク会議（6校で実施） →学校が地域の産業界とのネットワークを構築し、経済・産業情勢の変化、及び産業界のニーズに、教育を迅速に対応。</p> <p>専門高校活動成果発表会 →2月開催 専門高校9校参加 場所：倉吉未来中心 専門高校の活動の成果を各学校間で共有し、各専門高校の教育活動の質を向上させるとともに、実社会で通用する生徒の表現力やコミュニケーション能力を育成。</p> <p>宅配とっとりキャリア塾 →社会人による講演等91企画</p> <p>生徒と社会がつながる教育推進事業 →学校が専門機関と連携することで、生徒が主体的に社会と関わる態度を育てるとともに、社会参画の意識を高める。例として、県立高校1校をモデル校に指定し「模擬裁判」を実施した。</p>
キャリア発達支援事業	4,421,000	3,819,114	0	601,886	<p>福祉資格取得の促進 ・鳥取県ヘルプメイト資格の認定 →認定者 5校 43名 ・介護職員初任者研修の支援 →実施校 4校</p> <p>職業教育技術顕彰の実施 →268名の生徒を表彰</p> <p>就職支援相談員の配置 →17校17名</p> <p>農業後継者のつどいへの助成 →参加生徒 3校13名</p> <p>県外先進地農家への派遣 →派遣生徒 2校6名</p>

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																																																							
定時制通信制教育振興費	1,402,000	693,684	0	708,316	高等学校の定時制・通信制課程に在籍する一定の要件を満たす生徒に対し、教科書・学習書を給与した。																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">定時制</th> <th colspan="3">通信制</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td></td> <th>人</th> <th>冊</th> <th>円</th> <th>人</th> <th>冊</th> <th>円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取緑風</td> <td>12</td> <td>98</td> <td>79,847</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>5,762</td> </tr> <tr> <td>倉吉東</td> <td>7</td> <td>56</td> <td>36,615</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>米子東</td> <td>4</td> <td>30</td> <td>21,115</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>米子白鳳</td> <td>3</td> <td>25</td> <td>18,240</td> <td>9</td> <td>107</td> <td>109,084</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26</td> <td>209</td> <td>155,817</td> <td>10</td> <td>114</td> <td>114,846</td> </tr> </tbody> </table>						区分	定時制			通信制			人数	冊数	金額	人数	冊数	金額		人	冊	円	人	冊	円	鳥取緑風	12	98	79,847	1	7	5,762	倉吉東	7	56	36,615				米子東	4	30	21,115				米子白鳳	3	25	18,240	9	107	109,084	計	26	209	155,817	10	114	114,846
区分	定時制			通信制																																																								
	人数	冊数	金額	人数	冊数	金額																																																						
	人	冊	円	人	冊	円																																																						
鳥取緑風	12	98	79,847	1	7	5,762																																																						
倉吉東	7	56	36,615																																																									
米子東	4	30	21,115																																																									
米子白鳳	3	25	18,240	9	107	109,084																																																						
計	26	209	155,817	10	114	114,846																																																						
中学校のための高等学校理解促進事業	1,000,000	965,520	0	34,480	<p>県定時制通信制教育振興会に対する助成 補助金：170千円</p> <p>中学生の高等学校に対する理解促進を図り、高校入学時のミスマッチの防止を図った。</p>																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進路指導資料「輝け！夢」の作成</td> <td>県内中学校の2年生全員に配布 7,450部</td> </tr> <tr> <td>中学生県立高校体験事業の実施 (学校裁量予算で実施)</td> <td>県立高校体験入学または授業参観等 対象：中学生、保護者、中学校教員 時期：夏季休業中等において各高等学校が期間設定</td> </tr> </tbody> </table>						区分	実績	進路指導資料「輝け！夢」の作成	県内中学校の2年生全員に配布 7,450部	中学生県立高校体験事業の実施 (学校裁量予算で実施)	県立高校体験入学または授業参観等 対象：中学生、保護者、中学校教員 時期：夏季休業中等において各高等学校が期間設定																																																	
区分	実績																																																											
進路指導資料「輝け！夢」の作成	県内中学校の2年生全員に配布 7,450部																																																											
中学生県立高校体験事業の実施 (学校裁量予算で実施)	県立高校体験入学または授業参観等 対象：中学生、保護者、中学校教員 時期：夏季休業中等において各高等学校が期間設定																																																											
鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業	14,414,000	9,255,895	0	5,158,105	<p>海外留学（長期・短期）への支援、英語弁論大会の開催及び高校生25名程度を約1週間東・東南アジアへ派遣する事業等を実施し、世界に目を向けた将来展望を持った生徒を育成。</p> <p>海外留学への支援には長期・2名、短期6名の、あわせて8名、英語弁論大会には23名、生徒派遣事業には27名が参加。</p>																																																							

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
英語教育推進事業	5,374,000	2,014,523	0	3,359,477	平成32年度以降の英語教育の高度化等に対応するため、鳥取県英語教育推進会議を司令塔とし、国の研修を受講した教諭による教員研修等（4年間の悉皆研修）を企画・実施。 英語教育推進会議・・・4回 小学校教員研修・・・3回 中学校教員研修（平成27年度から実施） 高校教員研修・・・1回
(主) 英語教育強化事業	6,522,000	6,216,866	0	305,134	
(主) グローバル・リーダー育成事業	7,237,000	6,375,572	0	861,428	
とっとり夢プロジェクト事業	2,000,000	1,779,656	0	220,344	創造力とチャレンジ精神を持った高校生の主体的な企画・活動を支援。 →「手話パフォーマンス」（鳥取湖陵高校）、「智頭宿格子」（智頭農林高校）、「まんが王国ととりの高校生を全国にPRしたい」（米子高校）の3プロジェクトを採択した。
新時代を拓く学びの創造プロジェクト	10,058,000	2,791,072	0	7,266,928	本県高校生の学力向上に係る事業を次のとおり実施した。  ・授業改革の推進を図る研修 →高等学校等の教員を対象に、授業力の向上と授業改革を進める視点及び実践力を養成し、授業改革の推進者を育成するための研修を実施した。 [学習科学セミナー：5回]  ・学力向上のための講師派遣 →生徒の学習意欲の向上や授業改革などの取組を進めている高等学校に、研究者や実践者などを講師として派遣することにより、各学校の取組をより一層推進した。 [実施校：24校]

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
ICTを活用した学習環境の研究	2,675,000	2,600,000	0	75,000	本県が進めている協調学習(※)を中心とした高校の授業改革を更に効果的に進めるため、モデル校(鳥取西、智頭農林)にタブレット端末1クラス分を整備し、静岡大学と共同でICTを活用した協調学習の研究を行った。 ※協調学習 生徒が数人のグループに分かれ自分たちで話し合い、考えを統合して主体的に学び合う「学習者」を中心とした学習。
(主)県立高校土曜授業等実施事業	3,000,000	1,016,940	0	1,983,060	
特例教育課程による地域研究事業(教育研究開発事業)	1,699,000	1,139,542	0	559,458	県立高校1校を文部科学省の研究開発学校に指定し、将来の地域を支える人材を育成するための地域に関する教材化等、新しい教育課程の研究開発を行う。 期間：4年間(H25~28) 指定校：岩美高等学校
指導方法の改善に関する実践研究(教育課程研究指定校事業)	709,000	501,157	0	207,843	学習指導要領の実施を踏まえた教育課程の編成、指導方法等の工夫改善を中心とする生徒の学習意欲を向上させる授業づくりに関する実践研究を、県立高校2校で行う。 期間：2年間(H26~27) 指定校：鳥取商業高等学校 米子南高等学校
文化芸術活動	56,515,000	45,824,334	0	10,690,666	高等学校文化部に対して支援を行うことで、文化部活動の活性化を図るとともに、全国高等学校総合文化祭及び国民文化祭をとおして醸成された文化芸術活動への機運を、次年度に控えた近畿高等学校総合文化祭開催を意識させることでさらに高め、県内文化芸術活動の後継者となる高等学校の文化部生徒の育成を図った。

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																
文化芸術活動 (つづき)	区分		実績																		
	外部指導者招へい事業 (学校裁量予算で実施)		文化部活動において校外の社会人に指導を受けた。																		
	合同練習会等支援事業		全国高等学校総合文化祭茨城大会に合同で出場する部門が、一堂に集まって練習した。																		
	備品整備事業		コンサートマリimba(吹奏楽)やデジタルカメラ一式(写真)等日常の活動に必要な備品を整備した。																		
	県高等学校文化連盟への助成		ア 全国高等学校総合文化祭(茨城)派遣費補助 イ 近畿高等学校総合文化祭(福井)派遣費補助 ウ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助																		
文化部パワーアップ事業		<p>近畿高等学校総合文化祭鳥取大会に向けて、中学校と連携して文化部活動のレベルアップを図るため、第35回近畿高等学校総合文化祭鳥取県実行委員会及び県吹奏楽連盟に経費を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外の著名・優秀指導者による生徒への指導(合唱、吹奏楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、美術・工芸、書道、放送、小倉百人一首かるたで実施)</li> <li>・楽器等の備品整備(演劇、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、マーチングバンド・バトントワリング、吟詠剣詩舞、郷土芸能で実施)</li> <li>・全国レベルの指導者養成のため、研修に派遣(放送、小倉百人一首かるたで実施)</li> <li>・中学校と高等学校の合同練習会の実施(6回、倉吉未来中心や県立高校で実施)</li> </ul>																			
高校生マナー アップ推進事業	100,000	69,161	0	30,839	<p>高校生の社会の一員としての自覚を高め、規範意識の向上を図るため、あいさつ運動等を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施期間</th> <th>参加人数</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>H26.4.15 ~18</td> <td>約5,050人</td> <td>①JR主要駅前での挨拶運動・マナーアップ呼びかけ</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>H26.9.9 ~12</td> <td>約5,900人</td> <td>②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導 ③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td colspan="3">各学校ごとの取組に変更</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実施期間	参加人数	活動内容	第1回	H26.4.15 ~18	約5,050人	①JR主要駅前での挨拶運動・マナーアップ呼びかけ	第2回	H26.9.9 ~12	約5,900人	②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導 ③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動	第3回	各学校ごとの取組に変更		
区分	実施期間	参加人数	活動内容																		
第1回	H26.4.15 ~18	約5,050人	①JR主要駅前での挨拶運動・マナーアップ呼びかけ																		
第2回	H26.9.9 ~12	約5,900人	②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導 ③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動																		
第3回	各学校ごとの取組に変更																				

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果										
定通教育充実事業	4,240,000	3,833,117	0	406,883	定時制・通信制に在籍する生徒を対象に、集団での生活体験や社会体験活動を実施した。 ・冬の宿泊体験（スキー体験） ・夏季休業中におけるインターンシップ ・じげ産業・文化探訪 ・テーブルマナー講習会 ・生徒会リーダー研修会など										
まんが王国とっとり応援団事業	4,839,000	3,515,339	0	1,323,661	「まんが王国とっとり」を盛り上げるために発足した「高校生まんが王国とっとり応援団」の活動を継続して実施し、まんが王国とつとりを支える人材の育成を図るとともに、応援団の活動を通じて、高校生の文化活動の振興を図った。  応援団参加人数：12校、97名										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まんがの描き方ワークショップ</td> <td>学ぶテーマを明確にし目標を持って取り組むことで、順序を追ってまんが技術のスキルを学ぶ事が出来た。</td> </tr> <tr> <td>まんが甲子園への出場（参加）</td> <td>毎年予選応募に取り組む高校の固定化が出来、本選出場に向けての生徒の気運が高まっている。</td> </tr> <tr> <td>韓国高校生との交流</td> <td>国際交流をとおして相互の理解と友好を深め、共に作品制作に取り組むことでコミュニケーション能力とまんが制作の技術を身につけた。</td> </tr> <tr> <td>コーディネーター1名の配置</td> <td>高校生の技量や要望を的確に把握し、充実したワークショップを開催した。 参加高校生の技量が向上した。</td> </tr> </tbody> </table>			区分	実績	まんがの描き方ワークショップ	学ぶテーマを明確にし目標を持って取り組むことで、順序を追ってまんが技術のスキルを学ぶ事が出来た。	まんが甲子園への出場（参加）	毎年予選応募に取り組む高校の固定化が出来、本選出場に向けての生徒の気運が高まっている。	韓国高校生との交流	国際交流をとおして相互の理解と友好を深め、共に作品制作に取り組むことでコミュニケーション能力とまんが制作の技術を身につけた。	コーディネーター1名の配置	高校生の技量や要望を的確に把握し、充実したワークショップを開催した。 参加高校生の技量が向上した。
区分	実績														
まんがの描き方ワークショップ	学ぶテーマを明確にし目標を持って取り組むことで、順序を追ってまんが技術のスキルを学ぶ事が出来た。														
まんが甲子園への出場（参加）	毎年予選応募に取り組む高校の固定化が出来、本選出場に向けての生徒の気運が高まっている。														
韓国高校生との交流	国際交流をとおして相互の理解と友好を深め、共に作品制作に取り組むことでコミュニケーション能力とまんが制作の技術を身につけた。														
コーディネーター1名の配置	高校生の技量や要望を的確に把握し、充実したワークショップを開催した。 参加高校生の技量が向上した。														
いじめ問題支援事業	9,162,000	8,590,820	0	571,180	全県立高校で心理検査hyper-QUを実施し、生徒及び生徒の所属する集団の状況を把握して、適切な支援策を講じる資料とした。 県立高校24校の生徒対象に各校2回実施 ・教員を対象に、心理検査hyper-QUの活用方法やケーススタディの研修を2回実施。 参加教員数 第1回 32人 第2回 36人										

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
高等学校における特別な支援を必要とする生徒支援ネットワーク事業	3,365,000	771,434	0	2,593,566	<p>県内3校（智頭農林高校、倉吉総合産業高校、日野高校）を主幹校として指定し、発達障がいのある生徒をはじめとする特別な支援を必要とする生徒への指導・支援の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主幹校だけでなく、すべての高校が各地区毎に関係機関等と連携</li> <li>・「高等学校における特別支援教育の手引き」を200部作成し、関係機関に配布</li> </ul>
合計	296,787,000	229,841,974	11,157,000	55,788,026	
(教育財産管理費) 倉吉農業高等学校演習林活用検討事業	9,188,000	151,580	8,984,000	52,420	<p>管理が十分できていなかった演習林（約110ヘクタール）について、計画的な間伐等の整備と並行して、学校教育活動のみならず、広く「県民の森」としての今後の活用策について検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会を5回開催。</li> <li>・大きく3点（学校教育活動、動植物生態学習、県民対象活用）の取組を平成29年度末までに計画的に実施することとした。</li> </ul>
目計	9,188,000	151,580	8,984,000	52,420	
合計	865,262,000	743,714,254	20,141,000	101,406,746	

9 予備費の充用調べ  
該当なし

10 緑越関係調べ  
 (1) 継続費逐次緑越調べ  
 該当なし

(2) 緑越明許費調べ

(単位：円)

科目	事業名	金額	翌年度緑越額	左の財源内訳			緑越理由	
				既収入 特定財源	未収入特定財源			一般財源
					国庫支出金	その他		
教育振興費	地域を担う人材育成事業費 (鳥取県版キヤリア教育推進)	22,242,000	11,157,000	0	9,157,000	0	2,000,000	国の平成26年度経済対策補正予算を活用し、年度内に事業期間が確保できず、年度内完了が困難となったため。
教育財産管理費	倉吉農業高等学校演習林活用検討事業費	9,188,000	8,984,000	0	2,849,000	5,082,000	1,053,000	入札不調及び演習林内で陥没が発生し、現場作業の安全確保のため設計内容の見直しが必要となり、年度内完了が困難となったため。
合計		31,430,000	20,141,000	0	12,006,000	5,082,000	3,053,000	

(3) 事故緑越調べ  
 該当なし

11 収入証紙取扱額調べ

目	収入 節	科目	件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
教育手数料	教育手数料	全日制高等学校入学料	3,778	5,550	20,967,850	
		定時制高等学校入学料	117	2,050	239,850	
		通信教育入学料	41	480	19,680	
		入学選抜手数料	2,718		5,858,400	
		証明書発行手数料	1,921		811,740	
		計(節)	8,575		27,897,520	
		本庁執行分計(目)			27,897,520	
		出納機関執行分計(目)			0	
		目計			27,897,520	
		合計			27,897,520	



1 2 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(単位：円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
本庁執行分計 (教育使用料)			0	0	0	0		
教育使用料	授業料		472,253,500	471,887,500	0	366,000	鳥取県立高等学校授業料徴収条例	収入未済額内訳(鳥取湖陵高) 過年度調定分 366,000円
	定時制高等学校授業料		3,464,100	3,464,100	0	0		鳥取緑風高、倉吉東高、米子東校、米子白鳳高
	通信教育受講料		229,710	229,710	0	0		鳥取緑風高、米子白鳳高
	高等学校授業聴講料		7,560	7,560	0	0		鳥取緑風高、米子白鳳高
出納機関執行分計 (教育使用料)			475,954,870	475,588,870	0	366,000		
目計			475,954,870	475,588,870	0	366,000		
合計			475,954,870	475,588,870	0	366,000		

## (3) 手数料

(単位：円)

目		収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
		節	細節							
教育手数料	教育手数料	教育手数料	全日制高等学校入学料	3,778	20,967,850	20,967,850	0	0	鳥取県立高等学校授業料等徴収条例	
			定時制高等学校入学料	117	239,850	239,850	0	0		
			通信教育入学料	41	19,680	19,680	0	0		
			入学選 hands 手数料	2,718	5,858,400	5,858,400	0	0		
			証明書発行手数料	1,923	813,690	813,690	0	0		
			本庁執行分計(教育手数料)	8,577	27,899,470	27,899,470	0	0		
教育手数料	教育手数料	教育手数料	全日制高等学校入学料	462	2,564,150	2,564,150	0	0	鳥取県立高等学校授業料等徴収条例	各県立高校
			定時制高等学校入学料	26	53,300	53,300	0	0		鳥取緑風高校、倉吉東高校、米子東高校、米子白鳳高校
			通信教育入学料	17	8,160	8,160	0	0		鳥取緑風高校、米子白鳳高校
			入学選 hands 手数料	1,854	3,997,400	3,997,400	0	0		各県立高校
			証明書発行手数料	4,831	2,029,040	2,029,040	0	0		鳥取県手数料徴収条例
			出納機関執行分計(教育手数料)	7,190	8,652,050	8,652,050	0	0		
目計			15,767	36,551,520	36,551,520	0	0			
合計			15,767	36,551,520	36,551,520	0	0			

(4) 財産収入  
該当なし(5) 寄付金  
該当なし

## (6) 諸収入

(単位：円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
目	細節							
雑入	非常勤職員等雇用保険料 本人負担分	136	141,962	141,962	0	0		
	世界で学ぶ！高校生海外体 験推進事業に係る参加負担	12	1,369,200	1,369,200	0	0		
	科学の甲子園鳥取県代表選 考に係る経費	1	122,145	122,145	0	0		科学技術振興機構
本庁執行分計(雑入)			1,633,307	1,633,307	0	0		
			1,076,392	1,076,392	0	0		各県立高校
雑入	非常勤職員等雇用保険料 本人負担分		22,000	22,000	0	0		鳥取緑風高
	過年度非常勤職員報酬等過 払い分		315,484	315,484	0	0		倉吉農業高校
	過年度非常勤職員通勤割増 報酬誤支給分返納		62,770	62,770	0	0		鳥取東高、鳥取工 業高、鳥取湖陵高、 八頭高、倉吉東高、 米子東高、米子高 鳥取西高
	外国語指導助手所得税還付 金		192,511	192,511	0	0		
	アデレード大学研修参加生 徒自己負担分		19,574	19,574	0	0		
	労働保険料還付金							
出納機関執行分計(雑入)			1,688,731	1,688,731	0	0		
目計			3,322,038	3,322,038	0	0		
合計			3,322,038	3,322,038	0	0		

(7) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備 考
教育手数料	1,950	証明書発行手数料
合 計	1,950 (2件)	

イ つり銭の状況

該当なし

13 税外収入未済額調べ

(単位：円)

区分 収入科目	年度						現年度分				収入未済額計 A+B	未収理由		
	過		年		度		収入未済額 A	不納欠損額	左のうちの収入済額	前年度以前からの繰越額			収入未済額の調定年度内 収入	収入未済額 B
	前年度以前からの繰越額	左のうちの収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入未済額の調定年度内 収入	収入未済額								
目 節 細節														
本庁執行分計（教育使用料）														
教育手数料	370,000						0	0	4,000	0	0	0	0	
教育手数料 全日制授業料										366,000	0	0	0	
出納機関執行分計（教育使用料）														
目 計	370,000						370,000	0	4,000	366,000	0	0	0	
合 計	370,000						370,000	0	4,000	366,000	0	0	0	

14 未収金回収促進のための取組状況調べ  
該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ  
該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況			当該事業の 契約額等	執行(支出)状況					備考
		議決	期間	限度額		設定年度の 執行額 A	債務負担行為の期間			合計 A+B	
							25年度ま での執行 額	26年度 執行額	27年度以降の 執行予定額		
平成25年度外国 語教育改善指導費	その他 (報酬・ 共済 費)	平成25年 3月 当初	26年度	28,130,000	—	—	2,582,480	—	25,821,480	25,821,480	出納機 関で執 行
平成24年度県立 学校勤務時間管理 サポートシステム 賃借料	借上料	平成24年 3月 当初	25年度から 29年度まで	4,464,000	4,840,920	968,184	968,184	2,420,460	4,356,828	4,840,920	
平成25年度県立 学校勤務時間管理 サポートシステム 賃借料	借上料	平成25年 3月 当初	26年度から 30年度まで	4,087,000	4,319,280	—	863,856	2,879,520	3,743,376	4,319,280	
平成26年度県立 学校勤務時間管理 サポートシステム 賃借料	借上料	平成26年 3月 当初	27年度から 31年度まで	4,585,000	3,985,200	—	531,360	3,453,840	3,985,200	3,985,200	
平成25年度IC T(情報通信技 術)活用協調学習 研究委託	委託料	平成25年 3月 当初	26年度	2,675,000	17,307,722	—	2,600,000	—	2,600,000	17,013,890	
平成26年度岩美 高等学校タブレット 端末等賃借料	借上料	平成26年 3月 当初	27年度から 28年度まで	3,624,000	1,658,880	—	345,600	1,313,280	1,658,880	1,658,880	出納機 関で執 行
平成26年度鳥取 西高等学校タブレ ット端末賃借料	借上料	平成26年 3月 当初	27年度から 29年度まで	5,102,000	4,422,123	—	1,067,409	3,354,714	4,422,123	4,422,123	出納機 関で執 行
合計				52,667,000	36,534,125	968,184	32,197,889	13,421,814	46,587,887	62,061,773	

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ  
 (1) 負担金

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含む)	備考
教育連絡調整費 新規							0		
新規以外のもの							2,269,680		大学授業料、外国 青年負担金等
本庁執行分計							2,629,680		
出納機関執行分計							402,439,200		就学支援金
目 計							405,068,880		
教育振興費 新規							0		
新規以外のもの							4,401,760		外国青年負担金等
本庁執行分計							4,401,760		
出納機関執行分計							1,165,044		
目 計							5,566,804		
合 計							410,635,684		

(2) 補助金

予算科目 (教育連絡調整費)

① 国 補 分

該当なし

② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交付先 間	補助対象経費	実施計画承認	着手	額の確定	支出の状況			備考	
			又は内示年月日	年月日	年月日	精算払 精算払	支出 年月日	金額		
事業の内容		補助率 及び 補助金額	交付申請	完了	検査	の別				
			年月日	年月日	年月日					
			交付決定	実績報告	審査・現地					
			年月日	年月日	調査年月日					
鳥取県高等学校 家庭クラブ連盟 補助金(H11年度)	鳥取県高等 学校家庭ク ラブ連盟成 人会長 (鳥取湖陵 高等学校校 長)	590,031	26.5.26	—	27.3.18	概算	26.7.4	566,000	家庭クラブ活動 を行う生徒に家 庭生活の重要性 を認識させ、将 来の良き家庭設 計者としての素 地を育成するた め。引続継続	
			26.6.5	—				27.3.25		△36,000
		(補助率：定額) 530,000	26.6.17	27.2.27	27.3.4					
鳥取県学校農業 クラブ連盟補助 金(H11年度)	鳥取県学校 農業クラブ 連盟成人代 表(鳥取湖 陵高等学校校 長)	1,498,902	26.5.26	—	27.4.20	概算	26.7.14	1,206,000	農業クラブ活動 を行う生徒に農 業の重要性を認 識させ、将来の 良き農 業経営者等とし ての素地を育成 するため。引続 継続	
			26.6.5	—						
		(補助率：定額) 1,206,000	26.6.17	27.3.30	27.4.13					
近畿高等学校総 合文化祭鳥取退 化し補助金 (H26年度)	近畿高等学 校総合文化 祭鳥取県実 行委員会委 員長	993,131	26.5.2	—	27.5.11	概算	26.9.5	2,192,040		
			26.6.10	—				27.5.18		△1,200,248
		(補助率：定額) 991,792	26.8.6	27.4.20	27.5.1					
本庁執行分計								2,727,792		
出納機関執行分計								0		
単 県 分 計								2,727,792		
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の( )書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の( )書きは補助金相当額である。									

予算科目 (教育振興費)

① 国 補 分

(単位：円)

補助金等の名称	交付先 間	補助対象経費	実施計画承認	着手	額の確定	支出の状況			備考	
			又は内示年月日	年月日	年月日	精算払 精算払	支出 年月日	金額		
事業の内容		補助率 及び 補助金額	交付申請	完了	検査	の別				
			年月日	年月日	年月日					
			交付決定	実績報告	審査・現地					
			年月日	年月日	調査年月日					
鳥取県高校生海 外留学支援補助 金(H24年度)	個人 (2名)	733,760	—	—	27.3.19	概算	26.10.31	600,000		
			26.6.30外	—	—					
		(補助率：定額) 600,000	26.10.10	27.3.10	27.3.18			外		外
本庁執行分計								600,000		
出納機関執行分計								0		
国 補 分 計								600,000		
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の( )書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の( )書きは補助金相当額である。									



② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交付先	補助対象経費 及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
			交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	精算 年月日	支出 年月日	金額	
鳥取県高等学校 定時制通信制教育 振興会補助金 (H11年度)	鳥取県高等 学校定時制 通信制教育 振興会会長	307,482	26.5.26	—	27.3.31	概算	26.7.1	170,000	定時制通信制高 等学校の生徒が、 各種大会や研修 会に参加するこ とにより、生徒 の学習意欲を高 めるため。引続 継続
			26.6.2	—			27.4.1	△16,259	
		(補助率：補助 対象経費の1/2 以下)	26.6.10	27.3.16	27.3.16				
生徒研修活動、表 彰、会員研修、会議 費、記念誌発行等		153,741							
鳥取県高等学校 文化連盟補助金 (H11年度)	鳥取県高等 学校文化連 盟会長 (米子西高 等学校長)	25,181,358	26.4.25	—	27.4.14	概算	26.6.11	800,000	
			(26.4.25)	—			26.7.8	15,691,000	
		(補助率：定額)	26.9.26	27.3.25	27.4.3		26.11.4	8,146,000	
		23,228,731	(26.5.30) 26.10.10				27.4.27	△1,408,269	
全国高総文祭・近畿 高総文祭への派遣、 県高総文祭の開催									
鳥取県高等学校 文化部振興補助 金(H24年度)	近畿高等学 校総合文化 祭鳥取県実 行委員会委 員長	13,109,629	26.5.2	—	27.5.11	概算	26.9.5	20,373,285	近畿高総文祭鳥 取大会に向けて 文化部活動を活 性化するため。
			26.6.10	—			27.5.18	△7,263,656	
		(補助率：定額)	26.8.6	27.4.20	27.5.1				
指導者招へい、指導 者研修への派遣、備 品整備		13,109,629							
鳥取県中学校文 化部振興補助金 (H24年度)	鳥取県吹奏 楽連盟会長	1,490,400	26.5.2	—	27.4.7	概算	26.6.17	2,600,000	近畿高総文祭鳥 取大会に向けて 中学校の文化部 と高校の文化部 の連携を図るた め。 引続継続
			26.5.15	—			27.4.21	△1,109,600	
		(補助率：定額)	26.5.30	27.3.27	27.4.6				
中高合同練習会、備 品整備		1,490,400							
鳥取県高校生海 外体験支援補助 金(H24年度)	個人 (6名)	2,917,549	—	—	27.3.25 外	概算 ・ 精算	26.8.29 外	1,200,000	新規
			26.6.10外	—					
		(補助率：定額)	26.8.18外	26.9.3外	27.3.16 外				
海外体験経費の補助		1,200,000							
本庁執行分計								39,182,501	
出納機関執行分計								0	
単 県 分 計								39,182,501	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の( )書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の( )書きは補助金相当額である。								

(2) 補助金 (他課から予算の配当替えを受けて執行するもの)  
該当なし

(3) 交付金  
該当なし

## (4) 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国単 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当初契約		入札等 年月日 (契約締結 等日)	完了 年月日	支出の状況		備考	
				予定価格	契約額 (契約年月日)			契約 期間	支出 区分		支出 年月日
教職員人事費	単	鳥取県立学校時 間外業務管理シ ステム運用管理 業務	(株)鳥取 県情報セ ンター	変更契約(最 終)	(契約年月日) 契約額	契約 期間	27.3.31 履行検査 年月日	精算	27.4.28	872,424	システムの開発者 及び著作権者であ り、システム内容を 熟知している者であ るため。
				872,424	(26.4.1) 872,424	26.4.1 ~ 27.3.31					
					( )		随	27.4.9			
				872,424	(26.4.1) 872,424	26.4.1 ~ 27.3.31	26.3.25 (免除)	27.3.31	872,424	同上	
							随	27.4.9			
				654,264	(26.4.1) 654,264	26.4.1 ~ 27.3.31	26.3.25 (免除)	27.3.31	654,264	同上	
予 定 価 格 が 5 0 万 円 未 満 の もの 出 納 機 関 執 行 分 計	単	鳥取県立学校時 間外業務管理シ ステム運用管理 業務	(株)鳥取 県情報セ ンター	変更契約(最 終)	(契約年月日) 契約額	契約 期間	27.3.31	精算	27.4.28	1,794,420	システムの開発者 及び著作権者であ り、システム内容を 熟知している者であ るため。
				1,794,420	(26.4.1) 1,794,420	26.4.1 ~ 27.3.31					
					( )		随	27.4.9			
				2,096,496	(26.5.16) 2,096,496	26.5.16 ~ 26.7.31	26.4.21 (免除)	26.7.31	2,096,496	同上	
							随	26.8.1			
目計										26,180	
										0	
										6,316,208	

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約締結 年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約額 (契約年月日)	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
教育連絡調整 費	単 単	鳥取県立高等学 校授業料等徴収 システム運用・ 保守業務	(株)鳥取 県情報セン ター	3,283,436	(26.4.1) 3,283,416	26.4.1 ~ 27.3.31	26.3.25 (免除)	27.3.31	精算	27.4.20	3,283,416	財務会計システムで 収納の記録管理を行 う必要があり、財務 会計システムの所有 者で本システムの開 発者であるため。
予定価格が50 万円未満のもの											1,577,500	
本庁執行分計											4,860,916	
出納機関執行分計											0	
目計											4,860,916	

(単位：円)

予算科目 (目)	国庫 単別の	委託料の名称	委託契約 の相手方	当初		契約		入札等 年月日 (契約締結 等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				当 格	契約額 (契約年月日)	契約額 (最終 契約年月日)	支 出 日			支 出 区 分	支 出 金 額		
												変更契約 (契約年月日)	
教育振興費	国費	鳥取県中学校英語指導法研修	ブリテイク・コミュニケーション	720,000	(27.1.7) 528,000	27.1.7 ~ 27.3.31	26.11.13 (免除)	27.2.20	精算	27.3.20	528,000		
							随	27.3.9					
	単県	世界で学ぶ！高校生海外派遣事業推進	(株)日本旅行 Tis鳥取 行支援	一人あたり 高校生298,620 引率 312,120	(27.1.27) 一人あたり 高校生248,000 引率 303,000	27.1.27 ~ 27.3.24	27.1.15 (免除)	27.3.23	精算	27.4.15	7,302,000		
							随	27.4.6					
単県	「高校生まんが」とり応え 王國と韓国江原道 支援団」韓国江原道 ア二等学韓に係る 一流訪韓委託業務	(株)日本旅行 Tis鳥取 行支援	一人あたり 高校生72,000 引率 93,000	(27.1.15) 一人あたり 高校生72,000 引率 93,000	27.1.15 ~ 27.3.27	26.12.15 (免除)	27.3.27	精算	27.4.15	834,000			
						随	27.4.6						
単県	「いじめ問題対策事業」に係るhyper-QU実施業務	(株)図書文化社	8,805,680	(26.4.14) 520円/人	26.4.14 ~ 27.3.31	見積書省略 (免除)	26.7.29 27.3.2	精算	26.9.30	4,256,720	4,200,040	hyper-QUを 実施できる のは(株)図 書文化社の みのため 債務負担行 為	
						随	26.9.11 27.3.23						
予定価格が50 万円未満のもの	単県	ICTを利用した学習環境の構築と実践研究業務	国立大学法人静岡大学	17,307,722	(25.4.23) 17,307,722	25.4.23 ~ 27.3.31	25.4.5 (免除)	27.3.31	前金	26.6.19	2,600,000		
							随	27.5.11					
本庁執行分計										19,720,760			
出納機關執行分計										0			
目計										19,720,760			
合計										30,897,884			

(4-2) 委託料 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当 初 契 約		入札等 年月日 (契約締結 年月日)	完了 年月日	支 出 の 状 況		備 考
				予定価格	変更契約 (最終)			支出 区分	支出 年月日	
				契約年月日 契約額	契約 年月日 契約額	契約形態	履行検査 年月日			
高等学校総務費										
予定価格が50 万円未満のもの									0	
本庁執行分計									0	
出納機関執行分計									640,660	学校医委託 岩美高 倉吉農業高
目 計									640,660	
合 計									640,660	

18 工事請負費調べ

該当なし

18-2 工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）

該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地  
該当なし

イ 建物  
該当なし

ウ 山林  
該当なし

エ 不動産売却等  
該当なし

オ 財産の交換  
該当なし

カ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）  
該当なし

キ 物権  
該当なし

ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）  
該当なし

ケ 有価証券  
該当なし

コ 出資による権利  
該当なし

(2) 金券類の受払状況

(平成27年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手 及び 郵便はがき	円 12,840	円 37,760	円 41,752	円 8,848	
収入印紙	0	0	0	0	
タクシー 一ポン券	0	0	0	0	
図書カード	0	0	0	0	
合 計	12,840	37,760	41,752	8,848	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成27年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
7 枚	30 枚	5 枚 21,580 円	32 枚

(3) 基 金

該当なし

## (4) 債 権

(平成27年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
			金額	件数	金額	件数			
外国語指導助手の宿舎 借上に係る敷金	円		円		円		円		
	141,000	1					141,000	1	鳥取東高校
	147,000	1					147,000	1	鳥取西高校
	147,000	1					147,000	1	鳥取商業高校
	110,000	1					110,000	1	鳥取工業高校
	147,000	1					147,000	1	鳥取湖陵高校
	231,000	3					231,000	3	青谷高校
	156,000	1					156,000	1	岩美高校
	294,000	2					294,000	2	八頭高校
	106,000	1					106,000	1	米子東高校
	100,000	1					100,000	1	米子西高校
	104,000	1					104,000	1	米子高校
	0	0	61,000	1			61,000	1	米子工業高校
	118,000	1	54,000	1			172,000	2	境高校
	118,000	1					118,000	1	日野高校
	141,000	1					141,000	1	鳥取北中学校
	0	0	100,000	1			100,000	1	境二中学校
	100,000	1					100,000	1	境三中学校
合 計	2,160,000	18	215,000	3			2,375,000	21	



20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）

該当なし

21 借受不動産明細調べ

該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況

該当なし

イ 異動状況

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

該当なし

イ 異動状況

該当なし

23 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

該当なし

24 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

25 備品の処分状況調べ

該当なし

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
平成26年7月31日	・有 <input checked="" type="radio"/> 無		

27 貸付金等状況調べ

(1) 総括表

該当なし

(2) 償還状況

該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

なし